

★タイラバから「TGピンペンスイッチ」100グラムにチェンジし、底から5メートル巻き上げたところで食ってきた

やっぱ  
食ったね！



▲タイラバが大好きという板倉さんも800グラム級を釣り上げた



▲赤やオレンジのヘッドでマダイが釣れている中、チャートカラーでも上がった



▲ヘッドは80~100グラム。カラーは実績の高い赤やオレンジを中心にチャートなど色いろ試してみよう

▲色や形状の違うネクタイやスカートのほか、ハリ先が甘くなったときのために交換用フックがあると万全だ

中々中々中々

紫のワゴン



ヨッシーこと吉岡進がエサ、ルーアー釣りを問わず様々な釣り物にガチでチャレンジしていく連載「ツリガチ」。第12回は東京湾のタイラバ。

当地のタイラバ乗合は大潮やその前後の中潮回り限定で出船。釣り場は観音崎沖の水深40〜60メートル前後にある根周りで、エンジン流して狙っていく。

釣り方は底まで落として一定の速度で10〜15メートルほど巻き上げる。これの繰り返しだが基本となるので、だれにでもマダイを釣り上げるチャンスがあり、状況によりビギナーや女性の方がかりにアタることもしばしばだ。

★マダイがヒットし、タイラバロッドが気持ちよく曲がる

# #吉岡進の新世代沖釣り紀行 vol.12

# ツリガチ!

## 東京湾のタイラバ

撮影/文◎本誌編集部



◆本編(62ページより)は高橋剛が執筆。沖釣りの楽しさをヨッシーとともにお伝えします!



▲底からリールのハンドル5回転させたところでアタった

オトメカクハ

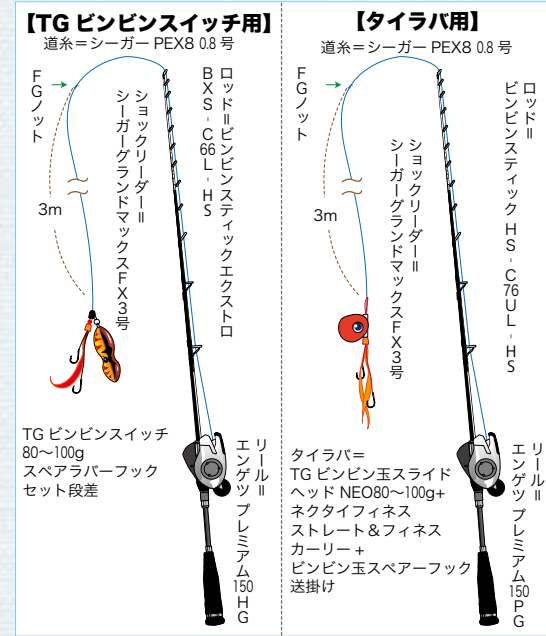
★ネクタイを2つ付けたタイラバで食わせた1.8キロのマダイ



▲当日の釣り場は観音崎沖の水深40〜60メートル前後

Profile ◆よしおかすすむ  
1982年生まれ。ヨッシーの愛称で親しまれている。一つテンヤマダイ、ライト系オフショールアーを得意とする。ジャックソルトフロスタッフ、シーガーインストラクター。

**タイラバタックル** ●全長2メートル前後のベイトモデルで、竿先が軟らかく胴にかけて曲がり込み、元はしっかりしている専用ロッドがおすすめ



▲ヨッシーが使ったタイラバは、タングステン製の「TGピンピン玉スライドヘッドNEO」100グラム。ネクタイはフィネスタイプのストレートやカーリーなど。フックは段差タイプを使用

▲タイラバのように落として巻くだけで色いろな魚が釣れるジャッカルの「TGピンピンスイッチ」。マダイの実績も抜群で当日は2キロを始め、船中3枚釣れた



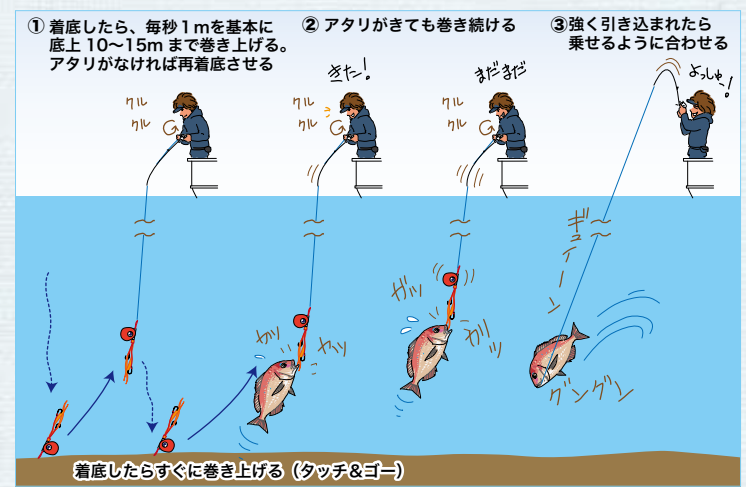
▲ヘッドを逆付けにして狙い1キロ前後のマダイを3枚キャッチ  
▼底上15メートルでヒット  
▲人生初のタイラバで2キロのマダイを釣り上げた高橋万梨菜さん

**タイラバの釣り方イメージ**

●基本は海底まで落とし、着底したら糸フケを出さずに即、巻き上げに移り、10~15メートルほど一定の速度で巻き上げて落とす。この繰り返し。アタリは巻き上げ中、または巻き上げ始めた瞬間にくることが多い。アタリがきたらそのまま巻き続けて、力強く引き込まれたら竿を立てて合わせを入れる。



▲毎秒1メートルの速度を基本に早くしたり遅くしたりして反応のある速度を探る



**#船宿インフォメーション**

**三浦半島 新安浦港 長谷川丸**  
☎090-6021-5919  
(詳細は巻末の情報欄参照)  
●料金=タイラバ乗合一人9500円(氷付き)  
●備考=7時15分出船。大潮や中潮限定、出船予定日はHPで確認。ほかタチウオ、アジでも出船



▲駐車場から歩いて船宿へ向かい、受付をして船着き場へ移動する  
▲岩瀬 正紀船長(左)



とにかく  
タイラバを、ハリを、  
海に入れておくのが  
大事なんだ

**東京湾のタイラバで釣れたゲスト**

●当日はマダイのほかにも様々な魚が釣れてクーラーがにぎやかに!



三浦半島新安浦港の長谷川丸を訪れたのは4月20日。岩瀬船長が向かったのは観音崎沖の水深40メートル。釣り開始から30分後、早くも船中1枚目となる2キロのマダイを初挑戦の女性が釣り上げる。

しばらくして100グラムのタイラバをゆつくり巻いていたヨッシーにも希望のアタリ。そのまま巻き続けて、魚の重みがかかったところでフッキング。回りに浅く掛かっていたり、掛かり所が悪いことも多いため、取り込むまでは油断できない。いつバレルかとヒヤヒヤしながら巻き上げて1キロ級のマダイが取り込まれた。

今回は専用ロッドとタイラバを使い、東京湾でマダイを狙ったヨッシー。詳しくは62ページからの本編にて。

★マダイを暴れさせないように慎重にタモへ誘導する